

櫻の子



3月号 (令和4年3月1日)

児童数 559名

川越市立大東東小学校



節目を生かす



寒さの中に春の気配を感じる頃、桃の蕾もふくらみ始め、開花を心待ちにしているように感じられます。学校は、いよいよ1年のまとめ、締めくくりの月となりました。修了、卒業の月を迎え、この1年の活動を通して、心身共に成長が見られたことは、保護者・地域の皆様との共有の成果でもあります。心より感謝申し上げます。

日本を代表する竹は、雪の重みにも強い暴風にも耐え、他の木々にはない、たくさんの節目をもって空に向かって真っ直ぐに成長します。わずかな風を竹全体で受け止めるしなやかさとともに、何百キロにも及ぶ力を反り返って跳ね返す力強さをもっている竹です。そのたくましさの秘密は、軽さと強さを併せ持つ規則正しい間隔の節目にあるとされます。そのような力を持つ竹は、種から発芽するまでに4年以上もかかり、その間に地下で1年間に7～8メートルもの根を張って地上の竹を支える準備をされると言われます。やがて芽を出した竹は、節目ごとに成長点をもつことで1日に80～100センチメートル成長し、2ヶ月弱で20メートルにもなります。目に見える成長の姿とともに、目には見えない支える力のバランスは、私たち人間の生き方に大きなヒントを与えてくれます。

節をつくり、外からの多くの力をしなやかに、力強く受け止め成長する姿は、子どもたちが目標に向かって頑張ろうと辛抱強く取り組む姿そのものです。併せて学びの過程で、目に見える行動や成果だけでなく、それらを支える外からは見えない心の葛藤と共に、意欲的に努力し続けることの大切さを知り、自分を支えてくれる周りへの感謝の心を育みます。

まっすぐな心をもって、たくましく育ててほしいと願うのは、親や教師だけでなく一歩先をきたもの、誰もが望む子どもの姿です。しかし、現実には、人間関係をはじめ様々な困難が次々と降りかかることが多い今日です。それだけに、それぞれの成長の節目においてめあてをもって進み、振り返ることが大切です。その積み重ねが、しなやかさと力強さの基となる節を築き、これから出会う様々な困難に打ち勝つ知恵や力の源となることと信じます。



<力を合わせて長縄チャレンジ!>